

令和3年度 糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報 No. 7

令和3年7月29日
糸魚川農業普及指導センター

1 7月29日現在のコシヒカリの生育状況（指標値との比較）

田植日・調査ほ場	草丈	茎数	葉数	葉色
田植日 5月4～18日 東海、西川原、根小屋、榎	並	並	やや多	やや濃

- 調査ほ場の平均は、草丈、茎数は並、葉数はやや多、葉色はやや濃となっています。
- 葉色は2回目の穂肥施用後は持ち直し傾向であるもののほ場間差があり、指標値を下回っているほ場もあります。
- 平坦地の5月上旬田植えのコシヒカリの出穂期は、8月4日頃と予想されます。また、調査ほ場ごとの出穂期の予想は以下のとおりです（表参照）。

表 調査ほ場ごとの予想出穂期

調査ほ場（地区名）	予想出穂期	調査ほ場（地区名）	予想出穂期
東海（早川地区）	8月2日	根小屋（根知地区）	8月2日
西川原（今井地区）	8月2日	榎（能生地区）	8月4日

2 今後の管理について

- 最新の一か月予報によると、今後一か月は高温で推移する確率が高いと予想されています。後期栄養の確保（穂肥）と水管理がととも重要となります。
- 2回目の穂肥を施用した後も葉色が淡いままの場合は3回目の穂肥を施用してください（めやす：SPAD値で33未満の場合、出穂直前（走り穂）頃までに窒素成分で10アール当たり1kg（例 越後の輝き有機50穂肥で8kg/10a）。
- 穂肥は浅水に湛水して施用しましょう。施用後は飽水管理を継続します。
- フェーン現象の発生が予想される場合、あらかじめかん水し、ほ場を湛水状態にしましょう（水深3cm以上）。また、可能であればかん水は夕方に行ってください。

3 7月29日のコシヒカリ生育調査結果

ほ場所		指標値 ※	東海	西川原	根小屋	榎
調査項目	(田植日)		(5月6日)	(5月4日)	(5月18日)	(5月14日)
草丈	本年値 (cm)	90	93	94	89	83
	平年比 (%)		99	103	102	89
	指標比 (%)		103	104	99	92
茎数	茎数 (本/m ²)	370	380	294	460	392
	平年比 (%)		92	74	110	98
	指標比 (%)		103	79	124	106
葉数	本年値 (葉)	12.8	13.4	13.7	13.5	13.0
	平年差 (葉)		0.2	+0.6	+0.6	-0.2
	指標差 (葉)		0.6	+0.9	+0.7	+0.2
葉色 (SPAD)	本年値 (SPAD値)	32.0	32.2	38.9	30.2	32.3
	平年差 (SPAD値)		-0.2	+7.0	-1.5	-1.9
	指標差 (SPAD値)		+0.2	+6.9	-1.8	-0.4

※指標比・差とは、目標とする理想的な生育値（指標値）に対する現在の生育値の割合・差